

グループの歩み

「なによりも患者さんのために」、
そして、すべての人の
「健やかな暮らし」へ



1929年～

地域の町薬局として 大阪市旭区で澤井薬局を創業

今から約90年前、沢井製薬の歴史は始まりました。薬剤師の澤井乃よと澤井範平により、沢井製薬の前身である澤井薬局が誕生。当時(昭和初期)は薬局そのものが希少な時代で、澤井薬局は地域の町薬局として医薬品販売を通じ、住民の健康を支えていました。

1965年～

医療用医薬品メーカーへ転換し GEのリーディングカンパニーへ

国民皆保険制度の導入に伴う医薬品市場の変化を捉え、一般用医薬品メーカーから医療用医薬品メーカーへシフトしました。医療関係者のニーズに応える製品を次々と供給し、ジェネリック医薬品業界のリーディングカンパニーへと成長する礎を築きました。

2003年～

東証一部上場企業として GEの普及拡大に貢献

「シェア拡大」「経営体質のさらなる強化」「ゆるぎないサワイブランドの構築」の基本方針のもと、ジェネリック医薬品の使用を促進する政府の政策の追い風にも乗り、成長を続けました。関東・三田西工場の建設、開発センターの新設など、生産・開発力の強化を図りました。

2021年～

業界再編を見据え、 選ばれ続けるGEメーカーに

既存事業の強化と時代の要請に応える新事業の育成を目指して、2021年に持株会社体制に移行しました。社会インフラとしての安価で高品質なジェネリック医薬品の安定供給に努め、2022年度には売上収益が2,000億円(非継続事業を含む)を超えました。